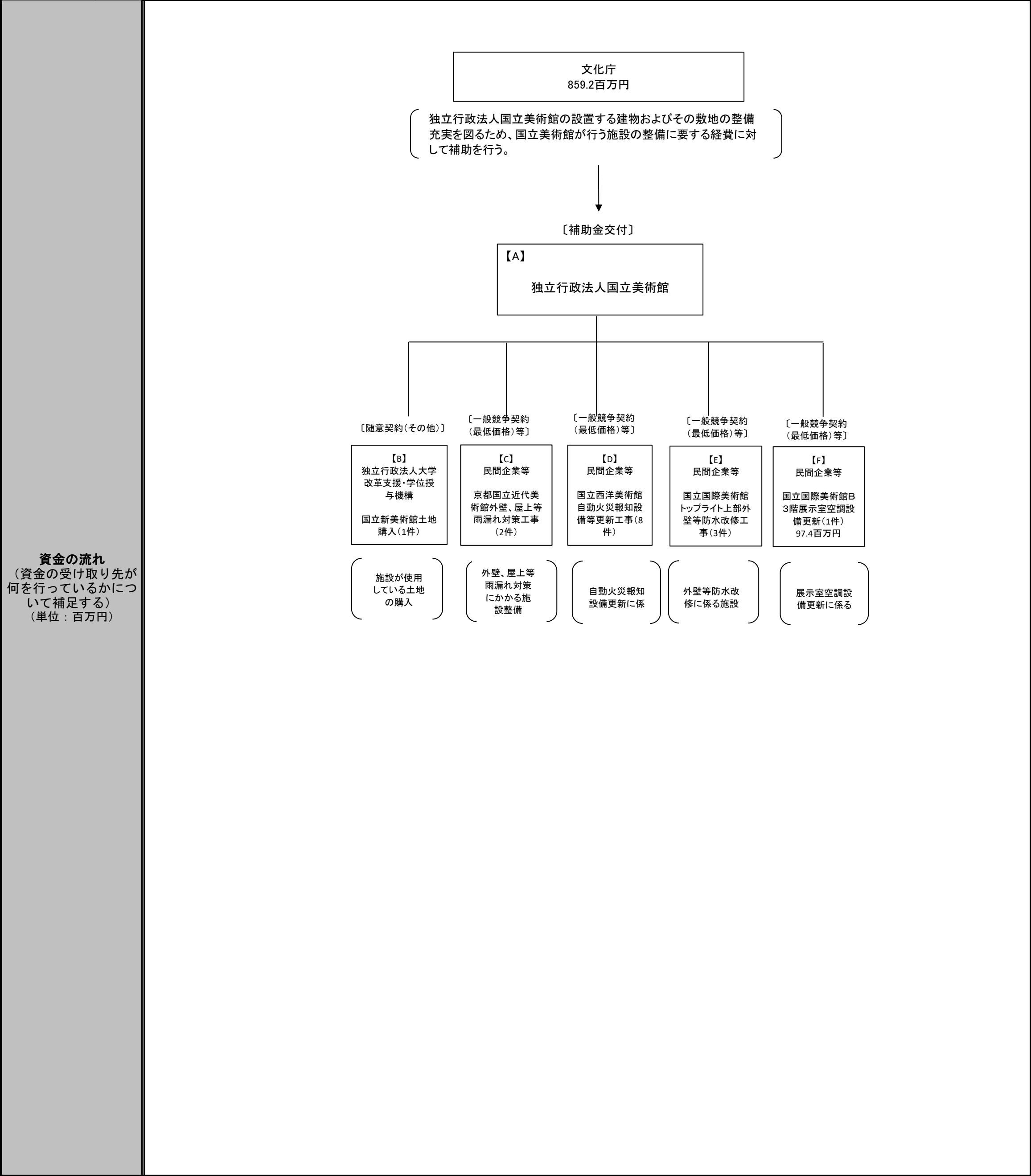


	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	独立行政法人国立美術館施設整備に必要な経費				担当部局庁	文化庁	作成責任者
事業開始年度	平成13年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	企画調整課	企画調整課長 寺本恒昌	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人国立美術館法 第3条			関係する 計画、通知等	文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)		
政策	12 文化芸術の振興			主要経費	その他の事項経費		
施策	12-4 文化芸術を推進するアートプラットフォームの形成						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_12-4.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	美術(映画を含む。)に関する作品その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、これに関連する調査及び研究並びに教育及び普及の事業等を行うことにより、芸術その他の文化の向上に寄与するよう、独立行政法人国立美術館の施設・設備の老朽化への対応、美術館利用者の安全確保及び利便性の向上等のための施設整備を行う。						
現状・課題 (5行程度以内)	国立美術館は、我が国の近現代美術、海外の美術を体系的・通史的に提示できる質・量ともに充実したコレクションを形成・活用するため、美術館活動の基礎となる美術作品の収集・展示・保管・教育普及等に関する調査研究を行う専門性の高い人材を常に確保するための努力を継続していく必要がある。これらの不断的努力により、我が国及び海外の美術作品の鑑賞機会を国民に提供するとともに、海外に向けて発信することが可能となり、文化観光振興にも寄与することができる。 国立美術館の現状は、組織の基盤となる職員数が少なく、作品の保存・継承や教育普及及び広報等の専門人材並びに全国の美術館を支えるとともに、国際的なネットワークを構築していくための専門性の高い人材の確保が必要となっている。また、年々増加する所蔵作品等に対して収蔵庫等保管施設の狭隘・老朽化が進行しており、適切な措置が必要となっている。						
事業概要 (5行程度以内)	独立行政法人国立美術館が設置する美術館の狭隘・老朽化等への対応のための必要な施設整備の実施及び敷地の購入。(定額補助) 令和4年度に行った整備は以下のとおり。 (京都国立近代美術館)外壁、屋上等雨漏れ対策工事 (国立西洋美術館)自動火災報知設備更新工事 (国立国際美術館)雨漏り修繕工事 (国立国際美術館)B3階展示室空調設備更新 (国立新美術館)土地購入 □						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	補助率100%						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	1,381	100	400	400	995
		補正予算(B)	-	1,201.7	676.2	384.2	
		令和5年度第1次補正予算				384.2	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	2,047	1,193	1,201.7	1,352	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 1,193	▲ 1,201.7	▲ 1352	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	2,235	1,293	925.9	2,136.2	995	
	執行額(G)		2,069	1,279.6	859.2		
	執行率(%) =(G)/(F)		93%	99%	93%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		150%	98%	80%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	独立行政法人国立美術館施設整備費			土地購入費増のため 要求額のうち「重要政策推進枠」76百万円		
		独立行政法人国立美術館施設整備費補助金	400	995			
		その他					
	計(A)		400	995			

活動内容① (アクティビティ)		独立行政法人国立美術館が設置する美術館の狭隘・老朽化等への対応のための必要な施設整備の実施及び敷地の購入を行う。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		独立行政法人国立美術館の施設・設備の老朽化への対応、利用者の安全確保及び利便性の向上等を目的とした施設整備を適切に行う。	年度計画に基づく施設整備の件数	活動実績	件	3	2	5	－	－	
				当初見込み	件	3	2	8	5	－	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	中期目標において、「安全かつ良好な施設環境を維持するとともに、業務の目的・内容に適切に対応するため、関係機関と連携しながら長期的視野に立った施設・設備の整備計画を作成するものとする。」とされていることを踏まえて、成果目標を設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価のうち、施設・設備に関するものについて、標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中間目標の期間(令和3年度～令和7年度)	成果実績	%	100	100	－	－		
				目標値	%	100	100	100	100		
				達成度	%	100	100	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人国立美術館の令和4年度における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	中期目標・中期計画において定めた計画に沿った事業が行われたかについては、各年度評価をもとに中期目標期間終了後に作成される中期目標期間実績評価にて評価されること踏まえて、当該評価を成果目標として設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度		
		独立行政法人通則法に基づく主務大臣による第5期中期目標期間実績評価のうち、施設・設備に関するものについて、標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中間目標の期間(令和3年度～令和7年度)	成果実績	%	－	－	－	－		
				目標値	%	－	－	－	100		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人国立美術館の第5期中期目標期間における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									
		－									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	－									
	URL	－									
	該当箇所	－									

事業所管部局による点検・改善		
点検結果	・アクティビティ①については、資材の調達難等やむを得ない事情により繰越が生じたため、当初見込みを下回った。 ・契約に際しては、やむを得ないものを除き、一般競争により契約者を決定しており、支出先の選定の妥当性や競争性を確保するとともにコストの削減に努めている。	目標年度における効果測定に関する評価（令和8年度実施）
改善の方向性	・アクティビティ①については、年度内に事業が完了するように進捗管理を徹底する。 ・真にやむを得ないものを除き、一般競争入札等による競争性を確保するとともに、入札にあたっては、入札参加条件等や仕様書の見直し、適正な公告期間の確保、応札を見送った業者へのヒアリング・アンケートの実施等により競争性、公平性、透明性を引き続き確保していく。□	
外部有識者の所見		
外部有識者による点検対象外		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見		
事業内容の一部改善	この事業は、一者応札・応募となった契約があることから、原因を分析し、引き続き競争参加条件等の見直しを図るなど具体的かつ実効性のある取組を行い、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。	
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		
執行等改善	一者応札改善のために、契約監視委員会において契約内容を点検を行い、仕様書の改善等により、契約の競争性・公平性・透明性を確保する。相手方が限定される随意契約については、経済性を損なうことがないよう留意し、随意契約が真に適切であるかを確認しながら、効果的かつ効率的な予算執行に努める。	
過去に受けた指摘事項 と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	
	上記への対応状況	
	その他の指摘事項	
	上記への対応状況	
備考		

関連する過去のレビューシートの事業番号																												
平成23年度	385																											
平成24年度	408																											
平成25年度	373																											
平成26年度	367																											
平成27年度	363																											
平成28年度	343																											
平成29年度	352																											
平成30年度	355																											
令和元年度	文部科学省	-			0390																							
令和2年度	文部科学省				0391																							
令和3年度	2021	文科		20	0416																							
令和4年度	2038	文科		21	0421																							



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	土地購入費、所有施設整備費	859.2	土地購入費	所有施設が所在している敷地の購入費	400
	計		859.2	計		400
	C.			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	所有施設の整備費	26.4	事業費	所有施設の整備費	312.3
	計		26.4	計		312.3
	E.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	所有施設の整備費	4.1	事業費	所有施設の整備費	95.2
	計		4.1	計		95.2
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人国立美術館	8010005005424	土地購入費、所有施設整備費	859.2	補助金等交付	-	-	
B								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人大学改革支援・ 学位授与機構	5012705001234	国立新美術館の土地購入	400	随意契約 (その他)	-	-	
C								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社カンボー	5120001155529	シーリング打ち替え工事	26.4	一般競争契約 (最低価格)	2	100%	
2	株式会社明清	6130001033146	屋上防水層改修工事	6.1	一般競争契約 (最低価格)	4	77%	

